



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第108号

発行 北海道幌延町議会

編集 議会報編集委員会

電話 01632-5-1111

FAX 01632-5-2971

第6回 幌延町議会 定例会 12月11日

幌延町議会定例会が12月11日に開催され、行政報告、一般質問、同意1件、条例の一部改正、補正予算などの議案9件を審議し、全ての議決案件を原案とおりに可決し、同日閉会した。主なものは次のとおり。

▽同意第1号

副町長の選任につき同意を求めることについて

副町長の選任について同意した。

副町長(再任)

岩川 実 樹 氏

任期

自平成31年1月1日
至平成34年12月31日

▽議案第4号

幌延町一般会計補正予算

① エネルギー関連施設見学会の委託料1百98万1千円の減額の理由は、

② 参加者数の減と航空運賃が当初予算より減額された。

① 緑の環境づくり推進事業で1百9万円の減額がされているのは何故か。

② 枝等の整備を見込んでいたが、整備されていたため減額した。

③ 町有地の貸出収入において、送電線工事に関わる貸付ということだが、今年度のみ貸出なのか。

④ 今回の収入は平成30年度3月までの分であり、来年度以降は毎年契約する。

⑤ 公営住宅・公共賃貸住宅料が減額されているが、公営住宅には、通年、空室があるのか。

⑥ 予算を作る際は、10月末末居状況で積算しているが、実績に応じて減額している。

⑦ ワイン試験製造業務において、ふるさと納税返礼品に使用することに異議は無いが、先に町民に還元しないのか。

⑧ まずは、町民に試飲をしてもらい、残りは返礼品にする。試飲の機会については、内部で検討する。

⑨ 幌延産のワイン樽と幌延産のブドウでワインを作

り、最終的には幌延町で製造まで出来ないのか。

⑩ やりたい人が見つかるかが、事業の成功する要因だと思う。

⑪ 生産物売払収入で、牧草販売が1百25万5千円の減額されているが、理由は、

行政報告―町長―

幌延町バイオマス産業都市構想としてまとめ、国に提出をし、9月にバイオマス産業都市構想選定委員会ヒアリングを経て、10月23日に認定された。

飼養頭数百頭前後の規模で導入可能であり、自家消費と低圧売電による資源循環型バイオガスプラントモデルの構築を目指す。

北海道胆振東部地震の被災地への職員派遣の要請があり、10月9日から5日間、2人の職員を厚真町に派遣した。

国は、自動車運送業の担い手確保や人口減少が課題

となっている過疎地域等においては、平成29年9月1日以降の許可申請から自動車運送業の取扱いにおける規制緩和を行い、これを受け、町内のタクシー事業者が、北海道運輸局に貨物輸送許可申請をし、宅配事業者と契約を締結し、貨客混載輸送として幌延市外区域で配達を開始される。

教育行政報告―教育長―

○学校教育

北海道牛乳普及協会等主催の牛やミルクのある風景絵画コンクールで、問寒別中学校1年生遠藤康真君が北海道知事賞を受賞。前年度の北海道こども木工作品コンクールで北海道知事賞を受賞した、問寒別中学校2年生遠藤芽衣さんに幌延町文化奨励賞が授与された。

名寄地区中学生新人バドミントン競技選手権大会の男子個人戦ダブルスの部で、幌延中学校2年生の村上瞬之介君と若杉翔也君ペアが3位となり、全道大会の出場権を獲得。

国は、自動車運送業の担い手確保や人口減少が課題